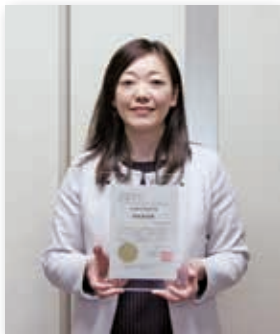


現場の課題にお答えします!

平野麻衣子講師が
日本乳幼児教育学会
研究奨励賞を受賞

「保育カリキュラムにみられる生活習慣形成プロセス」をテーマにした論文が評価され、平成28(2016)年11月に受賞。平野麻衣子講師は、「この受賞を励みに、乳幼児期の教育・保育という複雑で意義深い営みを明らかにすることに努めていきたいです」と語っている。



ふじ わら ただ お
藤原忠雄

学校心理・学校健康教育・発達支援コース教授

兵庫陶芸美術館と
連携協定を締結

4月、兵教大と兵庫陶芸美術館(三木哲夫館長)は、教員養成教育の充実と陶芸文化の振興のため、相互の事業を通じた交流を図ることを目的に、連携協定を締結した。教員を目指す本学の学生が陶芸文化を体験し、学ぶことで、将来、学校現場で授業や指導を行う際に寄与することが期待される。



ダナン大学(ベトナム)と
大学間交流協定を締結

2月、ダナン大学と大学間交流協定を締結した。同大学はベトナム中部に位置する国立の総合大学で、外国語学部日本語学科では日本語教育が盛んに行われる一方、英語による教育研究プログラムが充実し留学生も積極的に受け入れている。今後、多様な領域での交流や学術的・科学的協力などを図っていく。



キャンパストピックス

教員のメンタルヘルスの現状と、
悪化させないための視点について教えてください。



例年、教育職員の精神疾患を理由とする病気休職者数は5千人を超え、在職者数に対する比率は0.5%強であり、約180人に1人の割合です。しかし、これは精神的不調に陥っている教員の氷山の一角に過ぎません。年次休暇を最大限利用してのいでいる者、年次休暇を使い果たして病気休暇でしのいでいる者なども数多くいます。

また、教員を目指す学生のメンタルヘルスは近年悪化しているとは言えず、近年の教員のメンタルヘルスの悪化は教員の資質そのものの変化ではなく、制度や仕事内容の変化が大きな影響を及ぼしていると報告されています。そのため、教員のメンタルヘルスの不調は、一部の教員だけの問題ではなく、最近の教員の個人的要因でもないという認識に立って、その対策を検討することが重要です。

教員のメンタルヘルスを保持するためには、職場を挙げたの多忙化回避の努力が最も重要です。その次に、職場環境の整備とセルフケアの向上が重要です。職場環境の整備としては、お互いを支え合う情緒的支援体制や、担任一人が孤軍奮闘するのではなく、協力して問題解決を図ろうとする協働的生徒指導体制が必要

です。また、教員を守るともに成長を促進させる管理職のラインケアの充実が必要です。さらに、複雑化・多様化困難化している生徒指導上の諸問題に対応するための研修保障とその配慮が必要

です。個人のセルフケアとしては、自らの情緒的安定を図るとともに冷静に物事に対応できるようにリラクセス上手を、自らストレスを背負い込まないように受け止め上手を、相手の感情を逆なでしたり相手との関係を悪化させたりしないように自分の思いを爽やかに伝える表現上手を日頃から心掛けることが必要

QUESTION & ANSWER